

TITLE

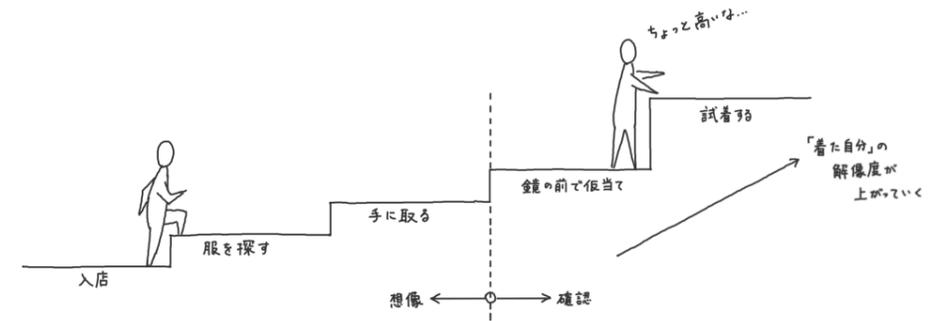
『#試着してみた』 くなる店舗

ECサイトの普及によって店舗は購入する「場所」から購入する「選択肢」の一つへと変化しました。
と同時に、店舗には(相対的な)「**実際の商品を手に取り、試着できる**」という強みが生まれました。
また**試着はおしゃれを楽しむ第一歩**です。そしてそれはおそらく、変わることがない普遍的な事象です。
店舗は、そんなおしゃれの原点とも言える強みを有していると言えます。
ただ一方で「**試着は大事**」と分かりつつも手間だと感じてしまい、**試着を積極的に楽しむことができません**。
そこで私は**店舗の強みを楽しいコトに変え**、お店へ行く動機づけができないか考えました。



CONCEPT

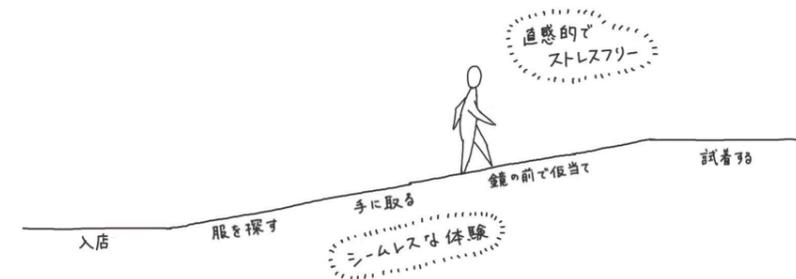
‘試着体験’をアップデートする



‘試着体験’とは試着室以外にも潜んでいます。洋服を探している時、気になって手に取った時、鏡の前で仮当てしている時など頭の中では、**その服を着た自分を想像 = 試着している**はずですが、本来であれば‘試着体験’そのものが楽しいはずですが、しかし現状の試着体験にはちょっとした不便や不満がありノイズが発しています。

- 服が見つらく、探しづらい
- 服の全体像が分かりにくい
- 自撮りした写真がイケていない
- 写真にスマホが映り込んでいる
- 仮当ての時は手が塞がって、自撮りできない
- 横向きや後ろ姿を撮るのが困難
- スタッフに撮影はお願いしづらい
- 試着した、気になった服をECで探すのが手間
- (ECで買うために)スタッフに品番を聞くのが億劫

これらの不便や不満を解決すれば、‘試着体験’を自ずと楽しめる環境が出来上がります。
そしてこの‘試着体験’が保存でき、さらにオンラインへ繋がれば、ずっと便利で楽しい時間が増えます。
これらを実現するためのアイデアをご提案いたします。

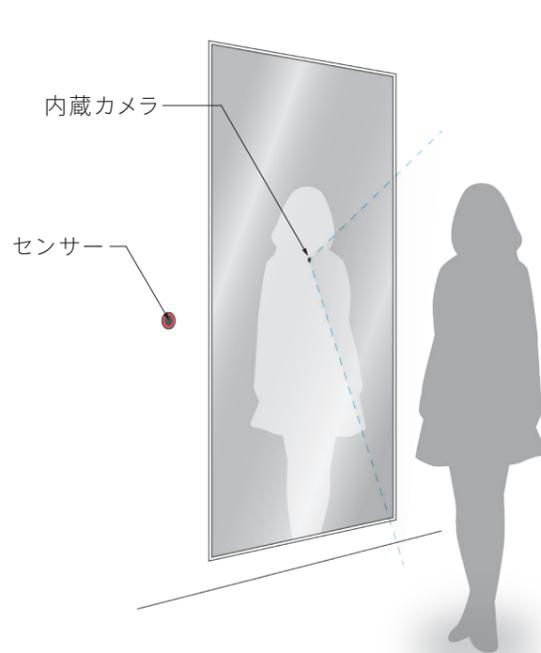


IDEA: 3つの具体策でアップデート

1. カメラ in ミラーの設置

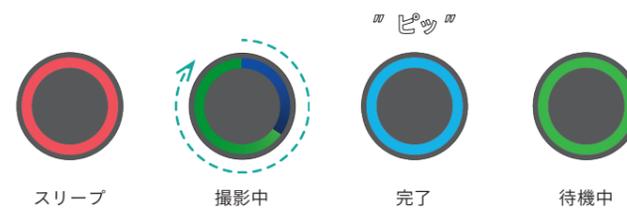


カメラ in ミラーによって自撮りが手軽に、そして360°きれいな写真の撮影が可能になります。スマホが映り込むこともなく見たい角度や好きなポーズでの撮影が可能です。



〈使い方〉

- ① センサーにスマホをかざすと、専用アプリの登録アカウントを認識しカメラが起動する。同時に商品コードも認識。
- ② センサーの色が変わり、撮影までの残り時間を知らせる。
- ③ 撮影音と再度センサーの色が変わり、完了を知らせる。
(撮った写真はすぐにアプリで確認可能)



- ④ スマホアプリの画面から項目を選択。

もう一度撮る 続けて撮る 終了する

2. 専用アプリの開発

〈アプリでできること〉

- ・アカウントの登録と管理
- ・写真の管理と編集
- ・カメラ in ミラーの操作
- ・商品への自動タグづけ
- ・EC(商品ページ)へのアクセス

〈さらにあると嬉しい機能〉

- ・類似商品の表示
- ・残り在庫数のお知らせ
- ・AIの活用によるパーソナライズとレコメンド



- ・ECの商品ページへジャンプ。商品の情報や類似商品コーディネートやレコメンドが表示される。
- ・アカウント=ユーザー情報と商品を紐付けした情報の収集が可能。商品開発などに活用する。

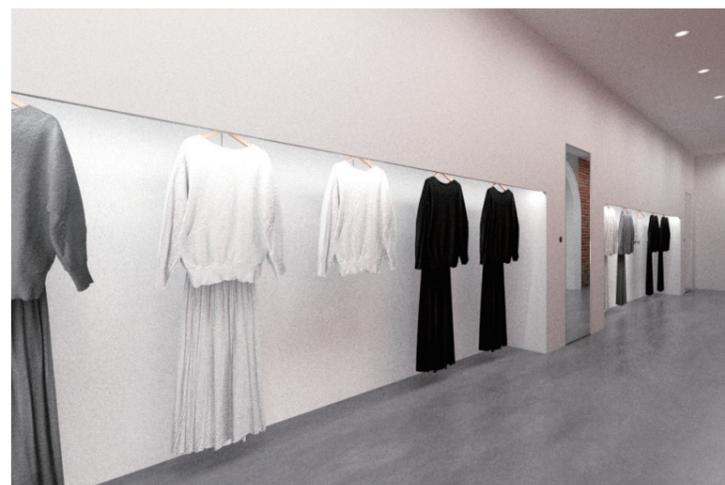
※全ての商品に電子タグを取付、センサーに商品コードを読み取らせ、写真へのタグ付けを行う



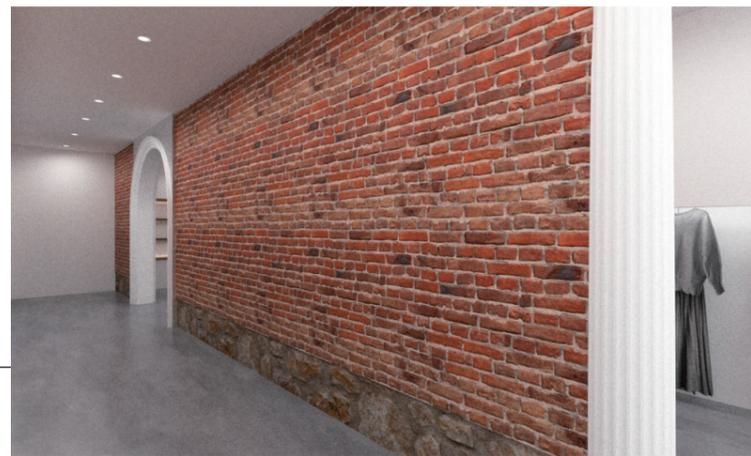
3. 店舗レイアウトの最適化



自撮り可能なカメラinミラーを設置。



探すことなく直感的に見つけられ、想像しやすくなるように、フェイスアウトの陳列を基本とし、上下セットでコーディネートも提案する。



自撮りの際の「背景」となるデザインウォール。カメラinミラーと対になるように設置。ブランドの世界観を演出する。



FRにもカメラinミラーを設置。
『#試着してみた』くなる“映える”
+“気持ちの上がる”内装デザインとする。



ギャラリーのような、ある程度道順が感じられる導線計画とする。
店舗を「見つけやすさ」「分かりやすさ」「想像しやすさ」の視点で構成し直すことで直感的でストレスフリーな‘試着体験’が可能となる。